

目次

特集

エココロ福祉基金助成報告 2・5

ミニ特集

デポー新松戸リニューアル 6

活動ファイル 6・7

理事研修 庄内遊佐

行政訪問事前学習会

協同組合の価値と原則 W S ワークショップ

理事研修 池田徹さん講演

ブロック活動ファイル 8・9

〇いろいろ〇マルシェ

デポーマルシェ

花と実のひみつ

虹と風のマルシェ

福祉フォーラム活動

手縫いのポシェット作り

千葉グループ お知らせ 10・13

生活クラブ風の村 NPO クラブ

VAIC-CCI UWNちば

くらしと家計の相談室 W.Co

イベント・情報 14

夢風ニュース / 申込書 15

6月のデポー 16



理事研修 庄内遊佐 6 ページ / 庄内・遊佐太陽光発電所（4月建設着手）の前で（写真下）
晴れた日にはうしろに鳥海山が見える（写真上）

組合員の皆さんに4月理事会の報告をします。

1. 2018 年度エココロ福祉基金助成枠が決定しました。エココロファンドは総額 550 万円を障がい者就労支援事業（スワンベーカー）、生活相談・家計再生支援貸付事業、アリエッティ基金、おたかの森小規模保育園事業の4事業に拠出。エココロ福祉助

3月の組織報告 総供給高 715,047,298 円

総組合員数 42,183 人（班 5,055 人 個別 20,464 人 デポー 11,883 人 経済共済 4,781 人）

成は 200 万円を上限とし、虹の街に審査会を設置し審査から助成決定に至る運営を担います。

2. 生活クラブ虹の街として総合資源エネルギー調査会基本政策分科会に対し、エネルギー基本計画見直しについての意見書を提出しました。また、エネルギー基本計画の見直し案が決定次第、パブコメ募集が行われた時には、パブコメの提出も行います。

発行 / 生活クラブ虹の街 発行責任者 / 木村庸子 編集 / 組織部

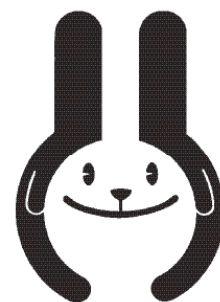
〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12 tel 043-278-7671 fax 043-279-7490 <http://chiba.seikatsuclub.coop/>

★本紙は古紙再生紙、ベジタブルインキを使用。

虹の街 Facebook はこちらから→



本部 043・278・7671/ センター柏 04・7134・3801/ センター千葉 043・278・7629/ センター佐倉 043・461・7868
センター松戸 047・385・4646/ センター市原 0436・60・1583/ センターベイ 047・379・1540/ デポー真砂 043・278・0112
デポーみつわ台 043・287・2414/ デポー新松戸 047・348・1210/ デポー大津ヶ丘 04・7191・7359/ デポー松葉町 04・7134・0697
デポー浦安 047・353・0135/ デポー木刈 0476・40・6811/ デポー園生 043・290・0090/ デポーおたかの森 04・7155・5505



2016 年度

エコロ福祉基金助成報告

2016 年度に受付・助成が決定し、2017 年 4 月 1 日～2018 年 3 月 31 日に実施した事業が対象です。（これまでは、事業実施年度を基準にしていたのですが、助成が決定した年度で呼ぶことに変更されました。）

エコロは「たすけあい」

エコロは、イタリア語で「はい、どうぞ」という意味です。エコロ制度は、多くの組合員の参加によりつくられた大きなたすけあいの輪です。そのなかのエコロ福祉基金は、助成金で地域の福祉活動を支援し、組合員が暮らす地域においてより暮らしやすくなることをめざしています。エコロ福祉基金には、毎月 100 円の掛け金のうち、約 20 円が使われています。（2017. 07 改訂）

エコロ福祉基金とは

エコロ福祉基金は 1998 年より、地域福祉が充実するための活動や事業に助成することで、地域のたすけあいの力が向上し組合員の暮らしも豊かになる、そのような願いから始まりました。

組合員からのエコロ制度掛け金を原資としています。「エコロ制度見直しプロジェクト答申」に基づき、虹

の街の地域福祉活動や福祉事業に活用するエコロファンド（旧特別助成）と広く地域の取り組みを支援するエコロ福祉助成（旧一般助成）に名称と位置づけを 2017 年度から変更しました。助成枠は毎年、理事会で検討し決定しています。

助成は、開始当初から今までに総額 1 億 7 千万円以上になります。

エコロ制度は 1986 年から始まり 30 年が経過しました。この間、組合員の利用動向や地域の高齢化などの社会情勢の変化に応じ、制度改正を行い充実させてきました。エコロ福祉基金においても、今後、高齢や子育て中に必要な支援活動を視野に入れながら、広く地域福祉活動を行う団体への助成をすすめていくことで、住みよい地域づくりの実現に寄与しています。

ちばの WA 地域づくり基金 冠 ファンド

生活クラブ虹の街は、一般助成を公益財団法人ちばの WA 地域づくり基金

（ちばの WA）の冠ファンド（オリジナルの助成プログラム：生活クラブ虹の街エコロ福祉基金）として、運営を委託しました。ちばの WA を通じて、より多くの人が周知する広報力や助成に至るまでの選考・審査力が向上することを目的としています。

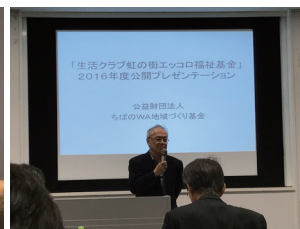
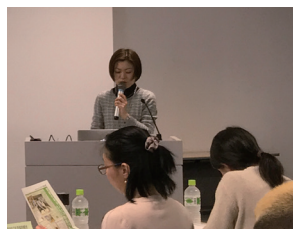
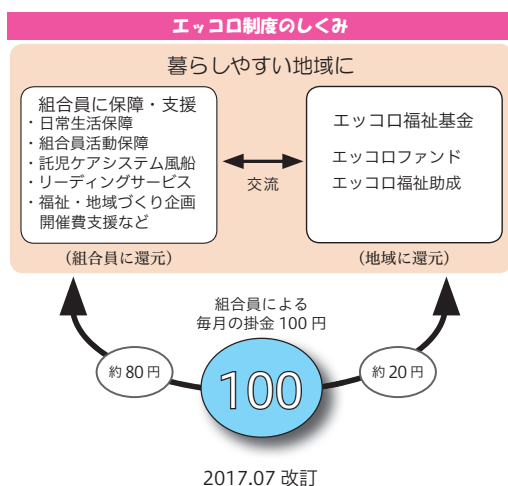
募集から助成決定まで

一般助成の募集は、ちらしや虹の街ホームページやちばの WA のホームページ、地域の団体への呼び掛けなどを通じて行われました。

また、応募団体を対象とした組合員からの応援メッセージを募集していることも、この基金の特徴です。その用紙は、応募団体の活動紹介や応援メッセージが書ける枠を設け、全組合員に配布しています。回収されたメッセージは、応募団体へ届けています。

（写真下）

ちばの WA 地域づくり基金



公開プレゼンテーション

2017 年 2 月 18 日、第 1 次選考を通過した 9 団体のうち 9 団体による公開プレゼンテーションとヒアリングが行われ、各団体は、持ち時間いっぱい助成事業についてアピールしました。選考委員からは、活発な質問がされ、助成対象事業や日頃のさまざまな活動とその思いを、会場の皆が知る機会となりました。

最後に、生活クラブ虹の街の木村庸子理事長が組合員からのメッセージを団体毎に手渡し、想いを届けました。

特 集

一般助成 募集から助成まで 2016年度

2016年

8月23日

「エコロ福祉基金一般助成の進め方」を理事会で承認

10月

ちばのWA 地域づくり基金理事会にて、冠ファンド「生活クラブ虹の街エコロ福祉基金」として設置承認
応募受付に先立ち、県内2カ所で募集説明会が実施され、12団体が参加しました。

【船橋会場】10/13(木) 船橋勤労市民センター

【千葉会場】10/14(金) 千葉市美浜文化ホール

11月1日～15日 助成応募受付期間

12事業の応募がありました。(内1団体は対象外)

12月 組員投票

選考に先立ち、組員投票を実施しました。539人から数多くの応援メッセージが寄せられました。

2017年

1月23日 第1次選考(書類選考)

公益財団法人ちばのWA 地域づくり基金助成褒賞選考委員会による第一次選考が行われました。助成趣旨及び選考基準に基づき、申請書類と「ちばNPO情報館」に開示されている情報および、事前ヒアリングでの申請事業の補足情報をもとに申請事業ごとに選考され、公開プレゼンテーションにすすむ9事業が決定しました。

2月18日 公開プレゼンテーション(最終選考会)

千葉市生涯学習センターで、第1次選考を通過した9団体による公開プレゼンテーションとヒアリングをもとに最終選考が行われ9事業が採択されました。

(写真2ページ)

2月21日 理事会承認

「2016年度エコロ福祉基金一般助成」理事会で承認

3月13日 助成証書贈呈式

3月中旬 助成実施(助成後1事業中止で返金されました)



2017年3月13日、虹の街本部の地域交流スペースで2016年度助成事業の助成証書贈呈式が行われました



2017年7月12日、虹の街本部の地域交流スペースで行われた2016年度の助成団体の交流会のようす

ちばのWA

虹の街



ちばのWA地域づくり基金

e-mail: info@chibanowafund.org

http://chibanowafund.org

エコロ福祉基金

2016年度助成団体の活動報告会&交流会

今年も、以下の日程で開催します。助成団体(4ページ)との交流や助成について興味のある方もぜひご参加ください。

日時 7月10日(火) 13:30～16:30

場所 生活クラブ虹の街本部 地域交流スペース

託児 あり

締切 6月22日(金)

申込み・問合わせ 福祉・たすけあい事業部

担当 柴山 tel: 043-278-7768

参加費
無料

特 集

助成を受けた団体の事業報告

・・・どの団体からも支援への感謝の言葉がありました・・・

NPO 法人世界のともだち (船橋市)
 ホームスタートを始めるための開催準備事業
 300,000

ホームスタート(以下 HS)は育児中の母親支援をする世界的な組織で、本助成金により船橋市で HS を立ち上げることができました。現在支援に必要なボランティア養成講座を6人の方が終了しています。この養成講座には市役所からも講師が来て、現在は気になる親子に団体のことを紹介してくれています。依頼をされる方も増えています。今後はさらに関わってくれる先輩母親が増え、子育て中のお母さんが気軽に頼ることができる環境をつくり続けていきたいと思っています。(写真①)


 団体名・事業名・助成決定金額(円)
 助成金の使い道・事業報告

NPO 法人ちば MD エコネット (船橋市)
 バリアフリーのカフェづくり(入口スロープ設置)
 200,000

障がいのある人もない人も共に働く「コミュニティカフェひなたぼっこ」の入口に設置していた段差プレートは簡易なもので、車いすやベビーカーの利用者や足の不自由な方が使うには不安がありました。本助成金で電動車いすの重量にも耐え、滑りにくい加工をしたスロープを設置できました。利用者からは「安心して入口まで入ることができた」と好評です。地域の商店



街の店舗ではまだバリアフリー化が進んでいないが、今回の取り組みが他の店舗にも広がるよう、情報発信していきたいと思っています。(写真②)

NPO 法人子ども子育て・発達支援研究会 (松戸市)
 障害のある子どもを持つ保護者に向けた「ライフサポートファイルの活用」普及事業
 210,000

ライフステージごとに支援者が代わっても継続支援を受けるためのライフサポートファイルは千葉県でも活用を推奨、松戸市は松戸版の配布が予定されています。行政は配布に予算をつけられても、「書く」ことは親に任せるしかない状況のなか、本助成金で仲間と共に記入する場所を提供できました。Web 上の報告で他県や近隣市参加者が増えました。このことからファイルの必要性は感じながらも自分を書くには負担と感じている保護者がいることがわかります。ライフサポートファイルが機能するためにさらに活動を広げていかなければならないと改めて感じています。(写真③)

One Step (船橋市)
 団体の知名度向上及び訪問美容活動の充実化
 220,000

以前から児童養護施設や母子ホームなどを訪問しボランティアカットを行っています。本助成金で訪問時の備品の購入や活動紹介のパンフレット作成、ホームページの立ち上げができました。



備品購入は訪問美容の個人の荷物が格段に減り、仲間が増えました。歳の近い私たちが施設に定期的に通うことで、子どもたちが徐々にいろいろな話をしてくれるようになります。おしゃれの話や職業の話もしています。卒園後も私達の美容室がふらっと立ち寄れる居場所になることができればと思います。(写真④)

NPO 法人ほっとすペース・つき (佐倉市)
 居場所事業・訪問事業
 160,000

居場所利用者が年々増加しているなか、さらに潜在利用者への周知を図る取り組みとして、紙媒体での広報に力を入れる必要があることからプリンターを購入しました。公共の場所にちらしを掲示するなど地域への周知に取り組み、市役所や学校から当法人のことを、子どもから大人まで紹介してもらうことができてきました。居場所事業は当法人のなかでもシステム化や広報が遅れていた事業でもあり、助成金を活用することで改善していくための舵を切ることができました。


NPO 法人市川子ども文化ステーション (市川市)
 小学生の放課後の居場所づくり整備事業
 300,000

公立の学童保育の定員や管理体制に課題があるなか、主に小学生の子どもたちがふらっと立ち寄れる場として、事務所を改装し居場所をオープンしました。毎週1回、定期的で開催することで子どもとスタッフの信頼関係ができました。自治会の理解も得られ、地域のシニアの方がボランティアとして参加してくれるようになり、地域の子どもと大人が出会う場所になりました。靴を脱いで上



がれるスペースを確保しただけで、子どもやスタッフの意欲も湧き、子ども食堂や学習支援、イベントなど活用の幅が広がっているの、今後も継続していきます。(写真⑤)

キャロットクラブ ~認知症になっても安心して暮らそう会~ (富山市)
 認知症当事者による講演会
 160,000

本助成金により、昨年9月2日(土)に、成田富里徳洲会病院多目的室において、「いま認知症の人から、これから認知症にな



る私達へ」という、認知症当事者が登壇する講演会を開催することができました。講演をしてくださった当事者の、面白いエピソードや、活動的な毎日のようすを聞き、認知症に対する不安や偏見が解消されました。また、講演後「認知症患者と家族の会」設立準備委員会が発足しました。少しでも認知症にたいする理解が広がり地域で見守る体制ができていければと思います。(写真⑥)

我孫子自主夜間中学“あびこプラス・ワン” (我孫子市)
 子どもから大人の中学までの学びと学び直しを支援する教室の運営事業
 300,000

夜間中学の認知度が上がり、1年間で教室数が3教室に増えました。昨年度は136回の開催、生徒数はのべ1200人、スタッフはのべ860人さらに生徒も増え続けています。無事高校、大学へ進学した生徒もいます。発足当初から無償で開催していますが、規模や開催数、開催場所の増加でボランティアスタッフの負担が徐々に増えています。本助成金で会場までの交通費の一部をスタッフに渡すことができました。発足当初からの変化が急激なため組織内の運営対応や、スタッフと急増する生徒とのマッチングなどの課題も山積していますが、地域の団体と連携しながら運営していきたいと思っています。(写真⑦⑧)

特 集

各団体からの報告をもとにまとめています。

アリエッティ基金 (千葉市) アリエッティ基金 800,000 生活再生支援センターが管理・運営する緊急小口生活資金で、2010年に設置されました。同センターは、セーフティネット貸付の実現を検討する任意団体でしたが、2015年4月より生活クラブ虹の街が「生活相談・家計再生支援貸付事業」を開始したことから、基金を管理・運営する団体に改組。現在はVAIC コミュニティケア研究所と生活クラブ虹の街より共同代表を、生活クラブ風の村より監事を、3団体より役員を選出して運営しています。基金は設置当初より寄付によりまかなわれ、現在は上限3万円、無利息のつなぎ資金として活用されています。運営3団体は自立相談支援事業や家計相談支援事業を各地で受託していますが、相談者さんを公的な資金に連係することができても、審査や決定に時間がかかり受給までの生活費の不足や、また、新たに就職・就労できても勤め先までの定期代・初任給までの生活費がないということも多くあり、そのような時、チカラを発揮します。食べ物の支援「フードバンク」と共に、県内の各支援機関・団体にもこの基金は周知され、基金利用の斡旋を受けることもあります。2017年度は、87件の貸付と88件の返済（過年度分含む）がありました。	くらしと家計の相談室 (千葉市) 生活相談・家計再生支援貸付事業 1,700,000 2015年4月、生活困窮者自立支援法の施行と同時に、「生協による相談と一体となった貸付事業」の事業所である「くらしと家計の相談室」を開設しました。くらしや家計に困難を抱える人のサポートを、生協事業として取り組み始めてから丸3年が経ちました。2017年度は、1年間に452人の相談を受け、うち193人と面談、86人に合計6165万円の貸付を実施しました。今回の助成では県内他生協、他機関・団体、法律専門家等への広報資材の制作をはじめ、「ちば県民だより」、「ちば市政だより」への広告掲載のほか、京成電鉄の貼りステッカーを実施し、「お知らせ活動」を補強することができました。相談室では、電話で相談の概要を受け付け、その後面談で家計の状況を聞き取り、家計診断などを経た後、生活再生手段の検討や提案を行っています。相談内容に応じて、公的制度や他機関の活用、相談室の貸付を含む家計再生につながる提案を実施しています。貸付にあたっては事業規約に基づいて審査を行い、相談者と共に生活再生をめざして問題解決を図る「生活伴走人」が就き、伴走型の支援活動を実施しています。（写真⑨⑩）
スワンベーカーリー柏店 (柏市) 障害者就労支援事業 1,000,000 当店は2004年11月から営業を始め、今年で14年目を迎えた障がい者就労を目的としたパン屋です。柏市にある店舗での販売の他、生活クラブでは「共同購入・デポー・スワン友の会」の3つの形態で組合員の皆さまにご利用いただいています。「スワン友の会」は会員登録をして、パンセットを週1回利用することで障がい者就労を支援する仕組みです。多い時には週1,000セットを超える利用がありますが、月による増減が激しく、安定したご利用が課題です。現在当店では知的障がいを持つ男女の職員が働いています。勤続年数は9～14年と長きに渡っています。近隣の特別支援学校・学級の生徒さんの職場実習の受け入れや地域のイベントへの参加など、障がいの有無に関わらず地域の暮らしのなかで共に働ける職場づくりを実践しています。他にも、ブロックでの集会や組合員の関わる生活クラブ外の集まりでのご利用や、店頭で生活クラブの試食会を行うなど地域のお客さまだけでなくたくさんの組合員の皆さまに支えられている事業所です。今後も皆さまへの感謝と共に、持続可能な障害者就労支援を継続する使命感を強く持って、おいしいパンづくりに励んでいきます。（写真⑪）	生活クラブ虹の街 小規模保育おおたかの森 (流山市) おおたかの森小規模保育事業 2,000,000 2018年4月、千葉県流山市おおたかの森に「生活クラブ虹の街 小規模保育おおたかの森」が開園しました。千葉県内では、生協が運営する初めての小規模保育です。「食育・木育・共育・支えあい」の4つの方針を掲げており、そのなかでも、一番力を入れているのが、「食育」です。「食育」の重要なひとつである給食については、生活クラブの食材を使用し、生命の尊さや食の大切さ、感謝の気持ちを持てる保育をしています。また、1階にデポーおおたかの森が併設されていて、店内で料理体験や魚の解体など、生活クラブならではの食材に触れあう体験もできます。エコロフアンドでは、椅子やすべり台などの木材用品を購入し、エコロマークをつけました。方針で掲げている「木育」にも通じていますが、生活のなかに木の温もりに触れる環境を整えることで、豊かな感覚・感情をはぐくんできます。これからも、一人ひとりの子どもに寄り添い、愛情をもって保育を行います。

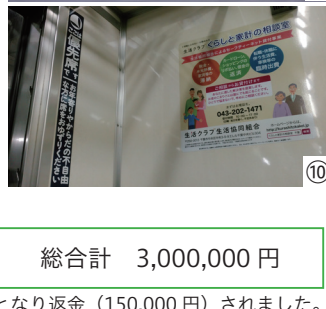












一般助成（4ページ）1,000,000円 特別助成（5ページ）2,000,000円 総合計 3,000,000円

*助成後、一般助成の1事業が中止となり返金（150,000円）されました。

デポ-新松戸リニューアル・活動ファイル

8 月、デポ-新松戸リニューアル！ キャッチコピー & ポスター が決まりました！



リニューアルをお知らせする際に、デポ-新松戸らしい「テーマ」をもってすすめようとリニューアル委員会でキャッチコピーをつくることを決め、運営委員会とワーカーズから意見を出し合うことにしました。

仲間を増やしたいよね、生活クラブの良さを伝えたいね、デポ-を知ってほしいな…と思いはいろいろあるものの、いざそれを短い言葉で表すのは意外と難しいもの。みんなで頭をひねりました。

「おいしい幸せ」は、ワーカーズが組合員から募集したもの。消費材を食べた時の幸せな顔が浮かびませんか？続

く「新まつど生活」は運営委員会での、デポ-新松戸で新しい生活をはじめよう！がコンセプト。新松戸らしい素敵なキャッチコピーになりました。

ポスター制作は、元運営委員でデポ-のポスターやちらしづくりに協力してもらっている古畑さんをお願いしました。まさにイメージにピッタリ！ポスターはデポ-のリニューアル掲示板に貼っており、周りには仲間づくりの葉っぱが徐々に増えています。

リニューアルに向けて「おいしい幸せ」をどんどん増やしていきましょう。

運営委員長 田端知江

理事研修 庄内遊佐

4月6・7日、生活クラブ虹の街 2018 年度理事研修に 23 人が参加しました。目的は、庄内地方の生産者が実施する「自給力向上」「地域循環型農業」やビジョンフードである「米」の生産状況、「庄内エリア FEC 自給圏ネットワーク」などを学び、日頃の生活クラブの活動の意義を理解し、活動にいかすというものです。東京駅に集合し新幹線で山形県新庄駅まで。その後はマイクロバスに乗り換え遊佐へ。

まず訪れたのは米生産者の尾形長輝さんの自宅兼作業場。種まき作業真っ最中。発芽を促すよう 32℃のお湯に 24 時間つけて芽が出た種もみを専用の機械で 30×60×3cm のパレットにまきます。「丈夫な苗になるよう種の量と水分には注意を払う」と尾形さん。作業場にはなんと 5,000 枚ものパレットが積みあがっていました。

苗を育てるビニールハウスでは、水分調整をしやすいうナイロンを敷いた上にパレットが置かれ、室内は適温 (25℃位) にコントロールされ、12～13cm になったところで田植えします。「苗の育て方は生産者によってまちまちで、管理のしやすさも大事です」。

カントリーエレベーター、庄内・遊佐太陽光発電所、胴原の滝を見学し、夜は

共同開発米について開発米部会副会長の今野修さんのお話し。「生活クラブとの取り組みのなかで遊 YOU 米が特別栽培米の基準を満たし、環境保全につながり、また、飼料用米もつくり始め、それらの取り組みが循環型農業になっていった。飼料用米は国の政策を動かすほどの活動になっていった」。「実験当初の飼料用米は 1 トン 3,000 円の安さだったけれど、それでも踏み切ったのは生活クラブとの信頼関係があったからこそ」との言葉にはグッときました。

この関係を維持するためにも産地を見て、生産者と交流することが大事だと痛感しました。米生産者の思いにこたえるべく、虹の街消費委員会から今年度の米利用計画、特に米を手軽においしく食べる提案「おにぎりチャレンジ」をアピール。改めて米を食べる人を増やしていきたいと思いました。 副理事長 福住洋美

2 日目は、まず学習会。「庄内 FEC 自給ネットワーク構想と福祉コミュニティ構想、生活クラブの取り組み」と題し、福祉委員長の山本百合さんから。

連合会の 6 次中期計画において主産地協議会が設置され、協議が行われている「庄内 FEC 自給ネットワーク構想」について。これは、生産者との提携の新たな

パラダイム（枠組み）として、お互いの地域をつくりあい、共に FEC 自給圏をめざすというもの。庄内を組合員の食料基地 (F) としてだけでなく地域作り (C)、太陽光発電によるエネルギー事業の開始 (E) を柱として、生産者と組合員が共に新たな提携をつくります。特に福祉の観点から、酒田市との連携で住み替えのプロデュースを行い、庄内への新しい人の流れをつくる計画です。交流会や援農などで庄内を訪れ、豊かな自然や生産者に会い、ファンになる組合員は大勢います。

「こんなところに住んでみたい」と実行したのが虹の街元副理事長の辻成子^{しげこ}さん。3 年前から遊佐と柏の二地域居住を選択し、千葉でのコミュニティを大事にしながら遊佐での生産の手伝いもするという夢のような生活を送っています。この日の研修にも駆けつけてくださり、遊佐の自宅も拝見。充実したセカンドライフは参加者の憧れの的となりました。

後半は「庄内・遊佐太陽光発電事業」について。前日に見た広大なメガソーラーを思い出しながら連合会調査室の佐々木巖夫さんの「エネルギーの地産地消と共に発電事業をとおして地域のなかでお金も循環していく仕組みになる」という話に、来年の発電開始が待ち遠しくなりました。

活動ファイル

研修を通して、改めて庄内の魅力とパワーを再確認でき、今後の活動にいかしていくヒントをたくさん得ることができました。

副理事長 並木道代

行政訪問事前学習会



4月17日、虹の街本部で行政訪問活動事前学習会を行いました。参加した組合員はこれから行政訪問活動をすすめていく環境委員・運営委員・環境フォーラムメンバー・コミュニティメンバーなど30人。

NPO 法人せっけんの街からは、理事長の道端園枝さんを始め、7人が参加。7月のシャボン玉月間に向け、道端さんからせっけん運動の歴史やせっけんの街の取り組みについて話を聞き、行政訪問の意義について確認しました。

「1973 年生活クラブ組合員のなかで合成洗剤を疑問視する声が広まり、1977 年取り組みを中止。以来今日まで生活クラブで合成洗剤を扱っていません。川を汚染する合成洗剤の被害が社会問題化され、1984 年 1 万人の市民出資により手賀沼に『せっけんの街』が誕生しました。まさに NPO 法人せっけんの街は生活クラブの組合員の活動から誕生しました。昨年度は手賀沼せっけん工場に交流スペースが誕生し、現在も多くの人々へせっけんの良さ、環境の大切を伝える活動をしています」と道端さん。

洗剤は、せっけんと合成洗剤と 2 種類に分けられます。せっけんは、水や生き物に影響を与える化学物質ではありませんが、水に溶けにくい、匂いが気になる等少し手をかける必要があります。便利で安価な合成洗剤に比べると使いづらいと感じる部分もあるかと思います。しかし、合成洗剤は石油を原料とし、人体や環境に有害とされる化学物質を含んでい

ます。合成洗剤からせっけんへと利用を切り替えることで有害物質の排出を抑えることができます。

「2001 年から PRTR 法が始まり、有害性のある化学物質がどのくらい空気や水、土壌へと排出されたのかデータを公表する制度が始まりました。環境省でも行政・事業所・市民それぞれの立場から化学物質の排出を削減する対策が必要と呼ばかれています。商品により有害物質の表示名を変える等、消費者に分かりづらい表示方法も問題とされています」。

いい匂いのする洗剤や殺菌効果をうたう薬用せっけん、私たちの周りにはたくさんの情報が溢れています。この活動を通して消費者が確かな目で選択することが大切だと伝えていきたいと思います。

理事 善塔晃子

ワークショップ 協同組合の価値と原則 W S



4月23日、虹の街本部で理事を対象とした研修に、21人が参加しました。

「協同組合の価値と原則ワークショップ」は、2005 年に生活クラブ連合会で当時組織していた女性委員会が ICA（国際協同組合同盟）の価値と原則を生活クラブの活動に引き寄せて、協同組合の価値を日常的な活動と繋げて学ぶワークショップとして考案したものです。ICA の原則については、年度初めにブロック運営委員と共に「組合員活動ガイド」を通じて学んでいます。その原則に生活クラブの活動表現を織り込んだワークショップはより身近に感じられるようになっています。参加者の意見や考えを自由に発表し、互いに気づきあい教えあう参加型の討議なので、多様な意見交換を通して協同組合の価値や活動の意義を発見するなど、理事同士のコミュニケーション

にも繋がります。

第 1 ワーク「これぞ生活クラブの活動」、第 2 ワークは活動テーマを 3 つ決めて、それぞれを付箋に書き出し、どの原則に当てはまるか、なぜそう思ったのかをグループで意見交換しました。第 1 ワークでは、生産者交流会・自主監査・コミュニティカフェ・自生 G M ナタネ調査・にかほブランドの取り組み・集い等があげられました。同じコメントでもその活動の何に価値を見出すかで当てはめる原則も異なり、さまざまな考え方を共有することになりました。意見交換するなかで考えが変わる場合もあり、自分自身の新たな発見にもなったようです。

日頃の活動が多々あるなか、生活クラブのおおぜいで参加する運動の意義や社会解決に向けた社会モデルづくりの意味を常に胸に刻み、地域への発信体として元気に活動していく一助になればと思っています。

理事長 木村庸子

理事研修（風の村池田理事長講演）

4月23日午後からは、「少子高齢化、人口減少の衝撃と生活クラブ千葉グループの役割」と題し、社会福祉法



人生活クラブ（風の村）理事長で元虹の街理事長の池田徹さんの講演。

「生活クラブ風の村の実践から、千葉グループの成り立ちとこれからの社会に求められるものは何か。高齢化、人口減少、空き家問題、介護、孤立、貧困等、これらのさまざまな課題を解決したいから生協をつくりました。グローバリズムではない日々の活動を続けてほしい」。

池田さんの言う「社会的連帯経済の拡大」（社会的な課題を解決するために事業をする人が拡大する）をめざしていかなければならないと実感しました。

副理事長 並木道代

*理事研修：昨年度より理事会では、千葉グループの各団体の方に講師をお願いし学習会を行っています。

ブロック活動ファイル

* QR コードで各ブロックの Facebook へ！



柏ブロック

〇いそどり〇マルシェ

4月28日、デポー松葉町にて〇いそどり〇マルシェを開催しました。暖かい春の陽気のなか、お子さんから大人まで30人が参加しました。

今回のマルシェは、冷凍のピザ生地を使って、ソースや具材を選んでつくる「オリジナルピザ作り」。冷凍のピザ生地があるのは知っていても、実際に使ったことのある組合員は少なく、皆さんとっても興味津々。ソースはトマトケチャップとホワイトルウフ레이크を牛乳で伸ばしたホワイ

トソースの2種類。6種類の具材から選べるスタイルで、迷いながらピザづくりを楽しんでいました。員外の方はピザができあがるまで店内を見学し、お試し利用。組合員はゴールデンウィークに親族が集まる機会の参考になったと材料を購入。

3月から行っている店舗前でのランチ形式は、組合員同士や組合員と員外さんが気軽に交流できるスペースとなっています。今後も員外さんと組合員とが交流を持って、加入や利用に繋

げられる企画を計画し、「食」の安全と継続して利用していく意義を伝えていきたいと思いました。

運営委員 吉田香保里



松戸ブロック

デポーマルシェ

4月14日、毎月恒例のデポーマルシェを開催。デポー店舗横のスペースにテントを張って、ご近所の人もお気軽にマルシェが始まりました。平田牧場の豚肉たっぷりのカレーライスは50食がふるまわれ、大好評。100円均一の産直野菜やW.Co菜の花さんの惣菜はあっという間に完売しました。骨密度測定やミニトマトすくい、ちびっ子玉入れゲームのコーナーも設け、たくさんの方が参加しました。なかでも、ミニトマトすくいは大人気

でした。まずは、くじ引きですくう道具を（茶こし・あく取り・しゃもじ）決めて、ミニトマトを水からすくい上げ、更にじゃんけんで勝ったらもう一度チャレンジできるというお楽しみ付きです。1パック分以上すくいあげた人もいて、とてももりあがりました。

コープ共済キャラクターの真っ赤なコーすけくんもやって来て、子どもたちに囲まれ一緒に写真を撮ったり、「いつ登場ですか？」と待っている方も。

店内では生産者交流会、組合員室で



はコミュニティ足がる隊によるマッサージなどもりだくさんのイベントで、ちびっ子連れのご家族から年配のご夫婦まで楽しんでいました。

デポー新松戸、8月のリニューアルに向けて皆で盛り上げていきたいです。

運営委員 山田りか



ベイブロック

花と実のひみつ

4月26日、浦安市でコミュニティわくわく科学クラブの山内幸子^{ゆきこ}さんによる「花と実のひみつ」の講座を開催しました。組合員14人、員外5人、子ども9人が参加しました。

皆さんは、ふだん何気なく見ている花の咲く草や木とその実の種について観察してみたことありますか？

今回は、春といえば想い浮かぶ「タンポポ」を題材にして、じっくり観察しました。タンポポは黄色い花が咲いた後、白い綿毛が飛びます。今回私も初

めてタンポポの花びらを一つずつばらしてみました。すると花の下には綿毛のようなものがあって、花びら一つ一つにめしべとおしべがありました。その小ささに驚きながらマイクロスコープで観察。「こんなふうになっているんだ！」とびっくりし「草花はすごい！おもしろい！」と感じました。何気なく見ていたタンポポを見る目が変わりました。

また、今まで気にとめなかった街路樹を見て「白い花が咲いているな、め



しべとおしべどういう形状なんだろう？」と考えるようになりました。きっと参加者も草花を見る目が変わったと思います。山内さんのわくわくする講座をこれからも開催予定です。興味のある方はぜひご参加ください。とっても楽しいですよ！

運営委員 星野 維

ブロック活動ファイル



千葉ブロック

4月14日、いなげビレッジ虹と風内のグリーンプラザ園生公園にて毎年恒例の「虹と風のマルシェ～桜さんぽ～春の音楽会」が開催されました。

今年は桜の開花が早く、葉桜のもとでの「桜さんぽ」となりましたが、音楽会にはたくさんの人が集まりました。バイオリンや最新のボーカロイド楽器、ハンドベルにコーラスと素敵な音楽が次々と繰り広げられ、参加者は一緒に歌ったり、手拍子をしたり、とても楽しそうでした。「お茶会」では、

虹と風のマルシェ 春の音楽会

老若男女問わず、お抹茶の和の世界を楽しんでいました。今回初の「地域食堂」と「子ども食堂」の同時開催もあり、子どもからお年寄りまでたくさんの人がおいしい食事を共にしました。食堂内でも楽器の生演奏が行われ、近隣に住むお年寄りは「久しぶりの外出におしゃれをして来ちゃった!!」「音楽を聴きながらお食事なんて何年ぶりだろう!!」と、とても楽しんでいました。

虹と風のマルシェは年に4回開催されます。今回は、6月23日(土)の



「キャンドルナイト」です。ビレッジ内がキャンドルで灯される幻想的な夜が楽しめます。10月に「稲毛区民祭り」への出店、12月に「餅つき大会」と楽しいイベントを予定。どうぞお楽しみに♪

理事 宮内京子



佐倉ブロック

4月27日、センター佐倉にて第1回フォーラムミーティングを行いました。メンバーは昨年度からの継続者、別フォーラムの卒業生、運営委員、理事を合わせた5人で、この日は4人参加。今年度のテーマは「日々の生活をより豊かにする、福祉に関連する活動」としました。昨年度に引き続き、誰でも立ち寄れる「ふらっとカフェ」の定期開催、ライフプラン講座、その他の講座などを開催する計画です。

ミーティングの後は、佐倉市江原台

福祉フォーラム活動

にあるW.Co ういず・ねこの手さくらの拠点「オアシス」を訪問しました。

4月27・28日は、オアシスマルシェの開催日で多くの人で賑わっていました。虹の街もアイスやパステライズド牛乳の試食や骨密度測定で出店。天気にも恵まれ、2階のテラス席で食べたコミュニティおひさま食堂の日替わり弁当は、ほっとできる手づくりならではの、優しい味でした。今年度オアシスでは、エコロ福祉基金「2018年度福祉助成」を受けた建物の改善工



事も行われる予定です。ますますこの「街の縁側」から目が離せません！

運営委員長 紅谷秋恵



市原ブロック

4月27日、木更津市にあるユニバーサルホームの展示場を借りて「手縫いでポシェット作り」のワークショップを開催しました。

講師は手芸を得意とするワーカーズ結のメンバー落合洋子さん。開催のきっかけはスマホとお財布がジャストサイズで入るポシェットを身に付けていたこと。とっても使い良さそうだな～と他の組合員の声もあがり企画に繋がりました。

ふだんは趣味で製作をしている落合

手縫いのポシェット作り in 木更津

さん。下準備から、教え方などとても上手で参加者一同満足のいく作品が2時間で完成しました。

「手縫いというところが手軽で良かったです。家にいるとなかなかこういう時間つくれないけど、場所を変えて、みんなとおしゃべりしながら手を動かすとリフレッシュできますね」と参加者の声。その後はミニランチを



して終了。

5人くらいの集まりが、いろいろな情報交換もできてちょうど良いとの声を良く聞きます。

都合のつく方は、近場の企画に気軽に

参加してみたいかがですか？

出会いや発見につながるかも…。

コミュニティ/クラフトボックス 立野真樹子



生活クラブ千葉グループは、県内の生活クラブ関連 9 団体の
総合力で地域社会をより住みよく暮らしやすくするために社
会問題の解決とコミュニティの再生に寄与します。

生活クラブ風の村

あなたの尊厳を守ります。

【事業本部】佐倉市王子台 1-28-8 ちばぎん臼井ビル 4 階

tel : 043-309-5811 fax : 043-460-8844

http://www.kazenomura.jp/

e-mail: info@kazenomura.jp



研修風景

生活クラブ風の村の職員研修

2018 年度事業計画の全エリア共通の方針は、「だれもが地域で安心して暮らしていけるために、一人ひとりの個性と尊厳を尊重した質の高いサービスを提供します。」から始まります。具体的な方針の一つとして「ケアサービスの質の向上、人材育成、教育研修」を挙げています。

そのなかで「認知症ケアチーム」の設置は、認知症ケアのリーダーを育成する試みで、法人としては初めての取り組みとなります。認知症ケアチームは、各拠点や事業所から 1～2 名の職員を選出し、総勢 20 名のチームができました。

風の村の認知症ケアは、「ユマニチュード*」を基本姿勢として始まりましたが、まだ日も浅く法人内で

統一したケアが行き渡るまでにはいたっていません。認知症を抱えた方を支えるためには、経験に基づく臨機応変な対応に加え、法や制度等の根拠に基づいた多岐に渡る知識や技術が必要となります。また、身についた知識や技術を事業所内に浸透させるためには、多職種連携の方法やリーダーシップ・マネジメント力も必要となってきます。

研修は「技術・座学・事例検討・現場の課題の討議」の 4 部構成です。

現場の課題と向き合いながら学び合い、現場で実践できる職員育成をめざしていきます。

研修スーパーバイザー 島田朋子

*ユマニチュード: その人の「人間らしさ」を尊重し続けること。「見る」「話す」「触れる」「立つ」の 4 つのはしらでご利用者とのよい関係性を築きあげていきます。

学童クラブ パート・アルバイト募集

経験・資格・年齢不問 (交通費支給)

仕事内容: 放課後学童に通う小1～3年生たちの
遊びやおやつなど生活づくりの支援

時 給: 有資格者 1,060 円 (資格なし 970 円)

勤務形態: 14:00～19:00 で週 2～5 日で希望制
1 日 4～5 時間くらい

土曜日・長期休み (夏休み等): 7:30～19:00 で
5 時間半くらい、日・祝はありません

勤務地:

- ①ちびっこクラブ 流山市加 1-15-2 (流山文化会館駐車場隣)
- ②おおぞら学童 流山市流山 4-451 (流山小学校敷地内)

まずは気軽にお問合せ下さい。

tel : 04-7158-7560 (西原)

学童は第 2 のわが家

第 1 おおぞら学童 (75 人)

第 2 おおぞら学童 (61 人)

ちびっこクラブ (104 人)

は流山市にあります。

「ただいま」「おかえりなさい」。平日の 2 時過ぎ、子どもたちが学校から帰ってくると、それまで静かだった学童がまさに眠りから覚めたように活気づく。「あのね、学校でね…」一斉にその日の報告の声で騒然。「そうなんだ」「そりゃ困ったねえ」。子どもたちの一人ひとりに支援員たちが笑顔でこたえます。この喧騒はお迎えの 6 時過ぎまで続きます。とにかく陽気な子どもたち。よく笑う、よく叫ぶ。でも、深刻な顔をしてみせる子も。「おかえりなさい」。支援員たちはふだんと違う何かを察していても、悟られぬようにやさしく声をかけます。「お腹すいたでしょ? もうすぐおやつだよ」。元気はないけど、少しほっとした顔。そう、ここから少しずつ心をほぐしていこう。ここには仲間も、時に口うるさいけど、やさしく頼りになる支援員もいる。学童は、第 2 のわが家なんだから。

ちびっこクラブ・おおぞら学童所長 西原信幸



生活クラブ千葉グループからのお知らせ

NPOクラブ

「四街道市みんなで地域づくりセンター」の運営を受託しています

市民のチカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる。

【住所】千葉市美浜区真砂 5-21-12

tel : 043-303-1688 fax : 043-303-1689

http://npoclub.com/

e-mail: npo-club@par.odn.ne.jp



(認定 NPO) ちば市民活動・市民事業
サポートクラブ



昨年ようす

福祉施設紹介・販売フェア「大きなテーブル」 四街道で開催します！

障がいのある人の社会参加、就労支援、自立支援の一環として、ふだんなかなか知ることができない福祉施設の取り組みや商品を紹介し、交流するフェアを開催します。また今回は、四街道市自立支援協議会就労部会による「障害福祉サービス事業所合同説明会」を同時開催します（29日のみ）。入場無料。お気軽にお立ち寄りください。

日時：6月29日（金）・30日（土）10:30～14:30

会場：四街道市文化センターホワイエ・展示ホール・

みんなで地域づくりセンター（四街道駅徒歩 15 分）

内容：福祉施設の活動紹介、商品販売（新鮮野菜、平

飼卵、パン、クッキー、手作り小物など）、専門機関

による就労・進路相談コーナー、よつグルメ café

参加団体：（予定）青空協同組合、ピース、どんぐり

工房、ピクシーフォレスト、めぐみや、ワークショッ

プ四街道、明日の種、たけのこ、とんぼ舎さくら他

共催：公益財団法人四街道市地域振興財団

協力：四街道市障害者支援課

主催・問合せ：四街道市みんなで地域づくりセンター

（シティセールス推進課分室）

tel : 043-304-7065 fax : 043-422-7051

e-mail : info@minnade.org http://minnade.org/

VAIC-CCI

C's cafe 定休日に「C's オレンジ・カフェ」と「C's こ〜じのうカフェ」開催

だれもが自分らしく安心して暮らせる地域に。

【事業本部】千葉市稲毛区園生町 1107-7

tel : 043-290-8015 fax : 043-290-8016

http://www.vaic-cci.jp/

e-mail: info@vaic-cci.jp



(認定 NPO) VAICコミュニティケア研究所



4月の「こ〜じのうカフェ」での「笑いヨガ」。全員で歌ったり「わっはっは！」の連呼。参加者の心と体を軽くしたようです。



VAIC-CCI が運営する C's cafe（佐倉市志津市民プラザ 1 階）では、
昨年 9 月から 2 つのコミュニティカフェを開催しています。

●第 1 月曜日「C's オレンジ・カフェ」

…認知症当事者やその家族・地域住民を対象にしたカフェ

●第 4 月曜日「C's こ〜じのうカフェ」

…高次脳機能障害者*やその家族・地域住民を対象にしたカフェ

いずれも「当事者やその家族の居場所機能」と、「地域住民への障害理解や予防啓発」の目的も併せ持っています。

毎回 15 人前後の参加があります。定休日に灯りに誘われて立ち寄ってくれた地域の方にカフェの趣旨を説明すると、たいいてはコミュニティカフェの必要性に理解を示し、なかには、参加して自身の介護の経験や将来の不安の話をしてくれたり、質問をされる方もいて、目的のひとつである障害理解や予防啓発になっています。

毎回参加の

高次脳機能障害当事者の

Kさん

「ここに来ると素の自分になれるんです。だからいつも来るんです」

*高次脳機能障害とは：脳卒中や交通事故などによる脳の損傷が原因で、言語や記憶・注意・情緒といった認知機能に起こる障害。注意が散漫になる、怒りっぽくなる、記憶が悪くなる、段取りが悪くなる等の症状がある。高次脳機能障害は外見からはわかりにくく、「見えない障害、隠れた障害」などとも言われる。

これからも、居心地のよい居場所を

提供していきたいと思います。

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

UWN ちば

7月から新しいユニバーサル就労支援始めます

誰もがはたらきやすい社会をめざして。



【住所】千葉市中央区中央 3-9-9 エレル千葉中央 304

tel : 043-306-2564 fax : 043-306-2574

http://uwnchiba.net

e-mail: info@uwnchiba.net

(NPO) ユニバーサル就労ネットワークちば

「働けない」理由は人それぞれ

働きたいのに働けない理由と聞いて、思い浮かぶのは何でしょうか？ 障がいのあるなし？ ひきこもってしまったから？ 私たちが「普通」に生活をしているなかでは、あまりピンとこないのではないかなと思います。

もちろん先ほどあげた「障がい」「ひきこもり状態」ということも「働けない」理由になるかと思いますが、私たちが注目するのはその結果、「どういう状態になっているか」ということです。

例えば「障がいがあるために、人との

意思の疎通がしにくい。それが原因で学校にもあまり通うことができなかったため、アルバイトやインターンなどで働く経験を積むことができなかった。年数が経つにつれ不安が大きくなり、働く一歩が年々踏み出せなくなってきている」となると、この方の「働けない理由」は「障がい」だけではなく「人と意思疎通がしづらい」「働く経験がない不安」「年数が経って動きづらくなってきてしまった」ことも含まれます。

働けない理由は一つではありません

私たちのところに相談にいらっしゃる

方の多くは複数の問題を抱えています。喧嘩の絶えない家庭環境、不登校、精神疾患、発達の偏り、経済的困窮などなど、こうした問題をすべて抱えた状態で「どうにかしたい。仕事をしたいけど…」とって来られます。

問題が複雑に絡んでいるから、一人で解決するのは大変難しい状況です。私たちはその人の「働きづらさ」を一緒に考えるところから支援を始めていきます。

より総合的な支援へ！

就労支援だから仕事の話だけではなく、その周囲にある問題も関係機関や他の専門家の皆さんと一緒に取り組めるよう、また今後もより一層皆さんにとって分かりやすい支援となるよう、現在支援内容の見直しを行っています。

新しい支援は7月1日から。内容が決まりましたら、お知らせいたします！

くらしと家計の相談室

借金問題 解決のお手伝いします

生活のたて直しをお手伝いします。

【住所】千葉市中央区中央 3-9-9 エレル千葉中央 304

tel : 043-202-1471 fax : 043-202-1474

https://kurashitokakei.jp

*ホームページに書き込みシートがあります。



くらしと家計の相談室

事例 2

債務一本化（おまとめ）

別居中の妻への仕送りのために、高金利のローンやキャッシングを利用。6社の残高が400万円、月返済が11万円にも上ってしまった。住宅ローン以外の債務を減免できる債務整理（個人再生）も考えられたが、安定した収入があり、親からの経済的支援も受けられ、離婚により仕送りが無くなる、という点から返済は可能であると判断し、高金利の債務の借り換えを実行。余裕のある家計収支となりました。

事例 3

債務整理（自己破産）

年金生活の夫婦。リフォーム代やクレジットカード債務の借り換え相談。同居する子からの家計支援が必須だが、子自身が債務返済に追われ親家計を支援できません。子の債務残高は、年収を大幅に超えていたので自己破産を提案し、弁護士事務所にも同行しました。債務返済がなくなったので、親家計を支援できるようになりました。

一方、親の債務は福祉医療機構の年金担保貸付での一本化を提案。低利の他制度のご紹介で解決しました。

*事例は本旨を損なわない範囲で改変しています。

事例 1

過払金請求と税金一括納付

住民税約100万円を滞納し、給与差押予告を受けて来所。他にも約90万円の消費者金融債務がある。この債務は、貸金業法改正（2006年）以前の取引が多いので弁護士を紹介し、過払金請求で解決へ。滞納税は相談室貸付で一括納付。消費者金融へ返済していた分を相談室への返済に充当できるので無理のない収支計画が立てられ、安心した生活ができるようになりました。

車検、転居、冠婚葬祭、離婚などの臨時出費を銀行カードローンやキャッシングで借りて賄ったり、クレジットカードの支払いをリボ払いにしたために債務総額が増えてしまった。返済が難しくなってきた、という相談が増えていきます。

家計収支の状況を確認し、「債務原因は解消できていますか？」「今後改善できることは？」など、相談員がお話を伺い、貸付での借り換えや債務整理などさまざまな方法を一緒に考え、お悩みを解決しています。

一人で悩まず、ぜひ相談室にご相談ください。

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

W.Co 連合会

私たち、ワーカーズ・コレクティブで虹の街の仕事をしています♪

ワーカーズ・コレクティブで暮らしをデザイン

【住所】 柏市十倉 380-97

tel & fax : 04-7134-0072

http://www.ac.auone-net.jp/~r11/wco.html

e-mail: wcochiba@s2.dion.ne.jp



(NPO) ワーカーズコレクティブ
千葉県連合会

受託部会

生活クラブ虹の街の共同購入事業の

- ・デポー運営を〈W.Co 樹〉
 - ・センター配送の一部やセンター業務を〈わーカーズ・あい、W.Co みらい、ワーカーズ・結〉
- 以上 4 事業所で受託しています。

生活クラブ虹の街の組合員であり、デポーの運営やセンターの配送や業務の仕事をしているワーカーズ・コレクティブ (W.Co) のメンバーの、仲間になったきっかけや働き方などについて紹介します。

Q : W.Co に入ったきっかけは？

- ・ワーカーズ募集チラシを見て、応募し話を聞いておもしろそうだった。
- ・組合員活動からワーカーズが立ち上がると聞き、生活クラブに関わって働きたかったので立ち上げにも関わった。
- ・配達職員から声をかけられ、子どもがいても働けそうだったので入った。
- ・ワーク参加システムで、身近で働くワーカーズを見てデポーで働きたいと思った。

Q : W.Co で働いていて楽しいことは？

- ・組合員と消費材の話で盛り上がり、調理方法や活用方法を教えてもらった。
- ・また、それを他の組合員にも伝え喜んでもらった。
- ・私たちがオススメした消費材を購入して気に入ってもらったとき。
- ・自分たちで運営していく難しさはあるけれど、働きやすい職場にしようと話し合って改善していくこと。
- ・直接地域の組合員の声を聴くことで、その地域のようすがわかり情報として生活に役立つことがある。

Q : W.Co で働いていてよかったことは？

- ・あたがいさまで、子どもの用事や休みに合わせて交代することができる。家族の急病の時などメンバー同士で代わり合い助け合っていること。
- ・メンバーに子育ての相談をしたり、話を聞いてもらったりなど、自分の居場所になっている。
- ・W.Co の理事やリーダーなど、運営や経営に関わる役になると時間がとられる部分もありますが、代わりあって関わっているの、経験者が助けてくれることもある。
- ・面倒な業務も、何故やらなくてはいけないか、そこまでの経過を知る機会があったり、聞くことができる。

あなたも一緒に W.Co で働きませんか？



生活クラブから生まれた W.Co だからこそ、価値観を共感できる仲間が集まり、自分たちで働きやすさをつくりながら、生活クラブの価値を消費材を通して地域に伝えることができます。これからも組合員や職員と共に活動をすすめていきます。

お問い合わせは、

上記 ワーカーズコレクティブ千葉県連合会まで



イベント・情報

くらしの見直し講演会 人間の幸せ装置・地域コミュニティづくり

茨城県生涯学習・社会教育研究会会長の長谷川幸介さんを講師に「地域のつながり」について学びます。詳しくは 5/21～配布のちらし・HP をご覧ください。

6 月 22 日 (金) 10:00～12:15

場所：モリシアホール (多目的ホール)
習志野市谷津 1-16-1 JR 津田沼駅南口徒歩 4 分

託児：締め切りました 定員：100 人

担当：福祉・たすけあい事業部 西
043-278-7768

ブロック企画

手作りせっけん

6 月 18 日 (月) 10:00～12:30

生活クラブの森 地域交流スペースこだち
(デポーおおたかの森 2 階) 託児あり

定員 8 人 参加費 400 円 (員外 500 円)

担当：三宅 04-7134-3801

目指せ美ママ! 筋トレ&ランチ

6 月 18 日 (月) 10:00～13:00

託児あり 参加費 500 円

担当：三宅 04-7134-3801

夕食を作りましょう!

6 月 19 日 (火) 14:00～16:00

デポー松葉町 2 階組合員室

参加費 1 食 400 円 (持ち帰りのみ 500 円)

担当：三宅 04-7134-3801

新・おしゃべりキッチン

6 月 21 日 (木) 10:00～12:30

ユニバーサルホーム / ラクーネル (木更津市)

託児あり 定員 20 人 参加費 200 円

担当：塚本 0436-60-1583

簡単! 楽しい! スクラップブックング

6 月 21 日 (木) 10:00～13:00

デポー松葉町 2 階組合員室

託児あり 参加費 300 円 (員外 400 円)

材料費 500 円

担当：三宅 04-7134-3801

手作りモッツアレアピザ作り・つとい

6 月 22 日 (金) 10:30～13:00

みかんハウス (松戸市)

定員 8 人 参加費 300 円

担当：鈴木 047-385-4646

松葉町〇いろどり〇マルシェ

6 月 23 日 (土) 10:30～13:00

デポー松葉町

担当：三宅 04-7134-3801

プラ板でイニシャルバッグチャーム

6 月 25 日 (月) 10:00～12:30

デポー大津丘 地域交流スペース陽だまり

託児あり 参加費 300 円 (員外 400 円)

担当：三宅 04-7134-3801

虫除け剤の副作用と選び方

6 月 26 日 (火) 13:00～14:00

カフェやさまる (君津市)

定員 10 人 参加費 500 円

担当：塚本 0436-60-1583

整体と気功のセルフケア

6 月 26 日 (火) 10:00～12:00

生活クラブの森 地域交流スペースこだち

託児あり 参加費 200 円

担当：三宅 04-7134-3801

ポーセラーツで自分だけのご褒美プレート☆

6 月 27 日 (水) 10:30～12:00

生活クラブの森 地域交流スペースこだち

託児あり 参加費 1,500 円

担当：三宅 04-7134-3801

らっきょう漬け作り

6 月 27 日 (水) 10:00～13:00

アミュゼ柏

託児あり 参加費 500 円 (員外 800 円)

担当：三宅 04-7134-3801

瓢箪作り講習会

6 月 27 日 (水) 10:00～12:00

デポー大津丘 地域交流スペース陽だまり

託児あり 定員 10 人 参加費 700 円

担当：三宅 04-7134-3801

アロマで虫刺されの痒みケア

6 月 28 日 (木) 10:00～12:00

生活クラブの森 地域交流スペースこだち

託児あり 参加費 300 円 (員外 400 円)

担当：三宅 04-7134-3801

春の集い・柏

6 月 29 日 (金) 10:00～12:30

デポー松葉町 2 階組合員室 託児あり

担当：三宅 04-7134-3801

子育てサロン

6 月 29 日 (金) 10:30～13:00

センター松戸

定員 8 人 参加費 300 円 (子ども無料)

担当：鈴木 047-385-4646

ちばこどもおうえんだん会員募集!



(NPO) ちばこどもおうえんだんは、千葉市の里親制度推進事業業務委託団体として選定され、里親制度の普及啓発活動を行っています。生活クラブ虹の街はこの活動に賛同。子どもたちの未来について一緒に考え、地域の皆さんとの緩やかなネットワークづくりにご支援ください。

年会費：個人 3,000 円 / 1 口

団体 10,000 円 / 1 口

特定非営利活動法人ちばこどもおうえんだん

tel & fax : 043-205-4046

e-mail : chiba.kodomo_ohendan@fuga.ocn.ne.jp

野菜の欠品情報は

生活クラブ連合会の Hp
<http://www.seikatsuclub.coop/> で

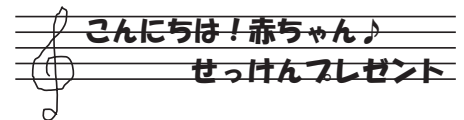
組合員メニュー



→ 今週の
野菜情報



QR コードからも



環境にも優しいくらしを考えるきっかけにしたいと、赤ちゃんとお母さんに、生活クラブのせっけんを贈ります。

お誕生 おめでとう!



今中 結萌 (ゆめ) ちゃん	2017.05
村田 紀一郎 (きいちろう) くん	2017.05
根本 達次 (たつじ) くん	2017.07
中川 結人 (ゆいと) くん	2017.08
飯島 悠結 (ゆゆ) ちゃん	2017.10
山本 久遠 (くおん) くん	2017.11
井出 茉莉依 (まりえ) ちゃん	2017.12
高橋 亜椰 (あや) ちゃん	2018.02
柴田 優 (まさる) くん	2018.02

夢風ニュース&申込書



2017 年度第2回にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会幹事会報告

4月13日、「にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会」の幹事会を開催。連携推進協議会の共同代表の生活クラブ神奈川半澤専務を議長とし、連携推進協議会の2017年度活動のまとめと2018年度活動方針について、にかほ市自然エネルギーによるまちづくり基金条例の検討状況について、組合員リーダーツアー開催計画案、映画「おだやかな革命」のにかほ市での上映について、法政大学西城戸教授ゼミ合宿への協力依頼などを主な議案として協議が行われました。

幹事会での議論をもとに2018年度総会の議案に反映します。

幹事会の最後に、4月より新しくにかほ市の副市長となった本田雅之さんは「こんなに深い取り組みが秋田県にかほ市ですすめられていたことを知り、良かった」と話しました。

生活クラブでんきの
キャンペーンスタート集会



4月20日、生活クラブ連合会主催のでんきのキャンペーンスタート集会にグリーンファンド秋田が参加。

基調講演は公益財団法人自然エネルギー財団の常務理事大野輝之さんの「自然エネルギー100%に向かう世界と日本」。自然エネルギーが急成長した背景には発電コストの急激な低下があり、世界の多くの地域で火力発電より安価になってきているとのこと。

続いて、「自然エネルギーへの転換と地域社会づくり～生活クラブでんきを選択することでの社会転換の可能性」というテーマでパネルディスカッション。コーディネーターを法政大学の西城戸誠教授、パネリストを名古屋大学の丸山康夫教授、会津電力(株)の佐藤彌右衛門代表取締役、飯館電力(株)の千葉訓道取締役、生活クラブ都市生活の高岡敦子さん、基調講演の大野輝之さんで行われました。

最後に、生活クラブでんきの生産者として、グリーンファンド秋田も紹介されました。でんきの生産者が一堂に会する機会は初めてでしたが、改めて風車のでんきを生活クラブに供給している仲間との繋がりを実感しました。

風車の発電実績

2月の発電量…509,194kWh

3月の発電量…582,030kWh

*夢風ニュース vol.70 より抜粋。

全文は生活クラブ虹の街 HP で公開中です。

コルザ 6 月号

申込書・申請書・アンケート

配達時または、デポーフロアに提出してください。

組合員氏名	組合員番号			申込 締切
こんにちは！赤ちゃん♪せっけんプレゼント 申請 (太枠の組合員氏名と番号を記入してください)				1歳の誕生日の前日までに申請
赤ちゃんの なまえ	ふりがな	赤ちゃんの生年月	20 年 月生まれ	
(男・女)				
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。(はい・いいえ)				
組合員の皆さまへ 2017 年度(2017・4～2018・3月号)のコルザバックナンバーを差し上げます。 なくなりしだい終了とします。複数号でもかまいません。 ☐ 月号希望				
コルザアンケート コルザ作成の参考にさせていただきます。	コルザ ____月号を読んで ①良かった・おもしろかった記事 タイトル「 _____」 ____ページ ②その理由など ③その他 ご意見・ご希望など			

*せっけんプレゼント希望の方は、申請書に必要事項を記入して提出してください。

対象は組合員のお子さんで、1歳未満の赤ちゃん。1歳の誕生日の前日までに申請してください。

*いただいた個人情報は適切に管理し、目的以外には使用しません。

*企画参加希望で詳細を知りたい方は、担当までご連絡ください。

本部宛 コルザ/組織部 鈴木

事務局記入欄 センター/デポー、配達コース()-()

6 月のデポー



イベント案内

デポーのお休み
7月 8日

デポー組合員の皆さまへ

7/1(日)～7(土)は、出資金の在高を確認する
在高確認週です。デポーにおいでください。

日	月	火	水	木	金	土
6/3	4 せっけんの街の日 *せっけんの街のせっけんなど 5% off	5 →大津ヶ丘・園生は 5 W.Co 凡ウィーク	6 3 week 3 meat キャンペーン 牛肉	7 黒豚の日	8 涼味フェア	9 涼味フェア
10 お休み	11 父の日 ウィーク(～17)	12	13	14	15 ビジョンフードの日	16 ほうきね牛入荷
17 日曜日	18	19	20	21 平牧金華豚の日	22	23
24 お休み	25	26	27 朝採り野菜の日	28	29	30 ほうきね牛入荷

消費材紹介キャンペーン① (6/4～9)

週替わりでおすすめ消費材が 10% 引きに!

味わいさっぱり加糖ヨーグルト・

ポークウインナー・餃子

10%
off

3 week 3 meat キャンペーン 牛肉 (6/4～9)

大好評企画の 3 週目。開拓牛のおすすめアイテム

10%
off

ビジョンフード牛肉の日 (6/4～9)

上記キャンペーン期間中、週 1 回その特徴やおいしい食べ方
などを試食と共に紹介していきます。開催日はこちら

W co. 凡ウィーク (6/4～9) ギフトでも人気!

しそシロップ・ゆずマーマレードなど

10%
off

涼味フェア (6/8・9) さっぱり食べてスタミナ up!

豚肉しゃぶしゃぶ用 (バラ・ロース・モモ)

手延べそうめん・万能つゆ 500ml など

5%
off

消費材紹介キャンペーン② (6/11～17)

ミックスチーズ・素精糖・焼きのり

10%
off

父の日 (英君・杉勇) ウィーク (6/11～17)

父の日においしい日本酒を!

おなじみ英君酒造と杉勇酒造のおすすめ品を紹介します。

牛乳キャンペーン (6/11～23)

生活クラブの代表的な消費材「牛乳」をおすすめキャンペーン。

通常の牛乳 (900ml・500ml)・ノンホモ牛乳

低脂肪牛乳 5 円引

10 円引

ビジョンフード牛乳の日 (6/15)

今回のテーマは「牛乳」。生活クラブの牛乳の特徴や、おすすめ
レシピなどを紹介します。

父の日フェア (6/15～17)

開拓牛のステーキ用アイテム・冷凍まぐろ

* 新松戸・松葉町は生まぐろ解体。

5%
off

消費材紹介キャンペーン③ (6/18～23)

スライスロースハム・おとうふ揚げ・バックだし

10%
off

生まぐろ 6/15 松葉町/16 新松戸/22 みつわ台/30 園生

解体

* 水揚げのない場合は冷凍まぐろが入荷



ビジョンフード
牛肉の日

開催日はデポーごとに異なります

6/4	みつわ台
6/6	真砂・木刈
6/7	大津ヶ丘
6/8	松葉町・園生 おたかの森
6/9	浦安・新松戸

日曜日 (6/17)

・ジュース類は特別箱値引き
通常の箱値引きよりさらにお得
・日曜青果市で季節の野菜果物もお得!
レシピ提案: 蒸し鶏のサラダ・えのき
苜蓿トレッシング

鶏ムネ肉・えのき苜蓿漬...

5%
off

タイヘイウィーク (6/18～23)

丸大豆醤油でおなじみタイヘイ (株) とその消費材を紹介。

平牧金華豚の日 (6/21) ギフトで人気の平牧金華豚が月 1 回入荷

きめ細かい肉質と芳醇な味わい... プレミアムな豚肉をぜひ!

中華フェア (6/22・23) しっかり食べて夏に備えましょう!

三元豚の薄切り肉 (ロース・肩ロース)・

牛肉肩ロース薄切り・豆板醤・ごま辛味オイル

牡蠣味調味料・ごま油 (300g・500g)

5%
off

消費材紹介キャンペーン④ (6/25～7/1)

肉厚わかめ・焼売・みりん風醸造調味料

10%
off

長野生産者ウィーク (6/25～7/1)

(株) マルモ青木味噌や餃子の美勢商事 (株) など、長野県の実産者
を紹介します。

朝採り野菜の日 (6/27) 朝採りの野菜が入荷。

毎年恒例の人気企画第 3 弾。お見逃しなく!

* 天候により中止になる場合もあります。

スタミナ涼味麺フェア (6/29・30)

豚肉しゃぶしゃぶ用 (バラ・ロース・モモ)

手延べそうめん・カキ氷シロップなど

5%
off